

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-03-02
事務事業名	防犯施設整備事業		
		根拠法令・要綱等	
事業開始年度	平成17年～		
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先	市民課
中項目 基本施策	安全で安心に暮らせるまちづくり	職・氏名	生活安全係長 初治 慎一
小項目 施策	安全・安心な環境の高揚	電話	0869-64-1876

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	夜間歩行者
目的 (何のために)	犯罪の発生を抑制するために設置した防犯灯などの維持管理をする。
行政活動 (どのような方法で)	市管理の防犯灯の電気料金の支払い事務及び修繕をする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	防犯灯の維持・管理には相当な経費を必要とすることから、市と地域の役割分担を構築する。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	電気料金支払灯数		基	185	183	182
	直接事業費			2,647	2,492	1,864
	人件費		千円	1,518	1,477	1,287
	事業費計			4,165	3,969	3,151
	国県支出金					
	受益者負担					
	市一般財源		千円	4,165	3,969	3,151
	必要人員		人	0.12	0.18	0.17
	結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績
電気料金支払灯数		説明	日生地区の防犯灯の電気代			
結果指標量		基	185	183	182	
対前年比		%	-	98.9%	99.5%	
活動コスト		円	2,065,580	2,248,943	2,528,405	
単位当たりコスト		円	11,165	12,289	13,892	

事業の成果			
成果指標名	電気料金支払灯数	式又は説明	市が電気料金を支払っている防犯灯の数
成果指標量	17年度 185.00	18年度 183.00	19年度 182.00
対前年比		98.92%	99.45%
到達目標値	100.00	到達目標年度	平成28年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	現状で、防犯等の維持管理を取り止めることは、市民の理解が得られにくい。しかし、市が電気料金を支払っている防犯灯については、一部の地区に限られており見直しが必要と考える。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している				
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない				
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である				
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい				
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である			効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			課題認識	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	事業費は、電気代・修繕料・人件費が主であるため、現状のままのコスト削減は困難である。しかし、市が電気料金を支払っている防犯灯が老朽により使用に耐えなくなった場合には、市と地域の役割分担の中で、新設・修繕・撤去を考えながらコスト削減に努める。			
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難				
<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある					
手	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している				
職	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている				
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている			有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			課題認識	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである			成果指標の向上が見込めるものの、犯罪発生を抑制力を低下させない役割分担の構築が重要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している				
<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである					
<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある					
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している				
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している					
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている					

平成20年度の状況		説明	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している
目標値	結果指標量 175		結果指標量 175.00

総合評価		評価区分 <A-E>	B
犯罪発生を未然に防ぐために、市の対策として防犯施設の整備は重要であるが、特に防犯灯については、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	市と地域の役割分担を構築する。	平成21年～	市管理の防犯灯数の削減。

